

資 料

アカトンボ (アキアカネ) アンケート結果*

根来 尚

富山市科学博物館

939-8084富山市西中野町1-8-31

On the questionnaire about *Sympetrum frequens*

Hisashi Negoro

Toyama Science Museum

1-8-31 Nishinakano-machi, Toyama 939-8084, Japan

富山県のアカトンボの現状につき、2008年8月中旬から10月初めにかけて、3つの集団にアンケートをお願いした。その結果200を超える返事を得た。このように多数の返事が得られたのは、多くの方がアカトンボを含む自然の変化にたいへん関心を持っておられることを示しているものと思われる。

以下に今回のアンケート結果のまとめを記す。アカトンボ類研究の一参考にいただければ幸いである。

3つの集団とは、1：富山市役所職員（主に農林関係職員）111名、2：富山市図書館職員（主に司書）58名、3：富山県ナチュラリスト研修会参加者55名である。アンケートは、以下のように作成し、一人一枚配布し、記入していただいた後回収した。

アカトンボ (アキアカネ) アンケート

富山市科学博物館 根来 尚

40～50年ほど以前には、田んぼでの強力な殺虫剤使用等の影響で、アカトンボが非常に減少していました。これが、農薬の種類や使用法の改善で、アカトンボも再度増え普通にみられるようになっていました。ところが、ここ数年どうもアカトンボが少ないなと感じる方が増えてきています。皆さんはどうでしょうか。

(注意：これは、アキアカネについてのアンケートです。ショウジョウトンボやウスバキトンボなどは対象外です。)

○をつけてください

最近アカトンボが少なくなったと思いますか。 思う 思わない わからない

いつ頃から少なくなったと思いましたか。 以下の質問は、思うと答えた方に
2～4年前 5～7年前 8～10年前 10年以上前
よく分らない

少なくなったと感じる理由は何ですか。 庭にアカトンボが来なくなった
里で群れ飛んでいるのを見なくなった
田んぼで産卵しているところを見なくなった
山で群れ飛んでいるところを見なくなった
その他
(何でも思うところを書いてください)

なぜ少なくなったと考えますか。 分らない
田んぼの減少
田んぼの水管理の変化など耕作方法の変化
その他
(何でも思うところを書いてください)

以前と変わらない感じる理由は何ですか。 以下の質問は、思わないと答えた方に
庭にアカトンボが飛んでくる
里で群れ飛んでいるのを見る
田んぼで産卵しているところを見る
山で群れ飛んでいるところを見る
その他
(何でも思うところを書いてください)

よろしければ、お名前： 年齢： 20代 30代 40代 50代 60代 70代
住んでいる所： 富山市富山地域 大沢野町地域 大山町地域 八尾町地域 婦中町地域 山田村地域 細入村地域
他 ()

* 富山市科学博物館業績第395号

アンケート結果

実施期間： 8月10日～10月2日。

回答者数： 224。

回答者年代：20代：35, 30代：51, 40代：41,
50代：59, 60代：25, 80代：1, 不明：12。

回答者の分布：富山市富山地域：103, 八尾地域：
22, 婦中地域：12, 大沢野地域：8, 大山地
域：3, 山田地域：4, 細入地域：7, 射水市：
12, 砺波市：3, 高岡市：5, 南砺市：6, 福
野町：1, 小矢部市：1, 氷見市：2, 舟橋村：
2, 立山町：6, 上市町：4, 滑川市：2, 魚津
市：5, 黒部市：3, 入善町：2, 不明：14。
(一部は、合併前の市町村名で記入)

アカトンボが少なくなったと思うか

思う：194, 思わない：13, 分らない：17。

いつ頃から少なくなったか

2-4年前：25, 5-7年前：43,
8-10年前：31, 10年以上前：55, 不明：40。

少なくなったと感じる理由は(複数回答あり)

庭に来なくなった：81, 里で群飛を見なくなっ
た：95, 田んぼでの産卵を見なくなった：25,
山で群飛を見なくなった：58。

なぜ少なくなったと思うか(複数回答あり)

不明：67, 田んぼの減少：61, 田んぼの耕作
方法の変化：65,

その他：田んぼだけでなくトンボの住める水辺が減
っている。区画整理・水路などの改修で、た
まり水の減少・乾燥化等ヤゴの生活場所が減
っている。捕食者(カラス)の増加によるの
ではないか。新規の農薬か? 除草剤使用に
よるか?

変わらないと感じる理由は

庭に来る：9, 山で群飛を見る：3, その他
(変化を感じない)：1。

簡単な分析

アカトンボが減少したと感じる方が87%と圧倒的に
多く、トンボ研究者のみでなく一般の方々も多くその
様に感じているようである。

いつごろから減少したかについては、10年以上前か
らという方(28%)と5-7年前という方(22%)とが

多いが、8-10年前、2-4年前という方も各々15%前
後はあり結構ばらついている。こういう記憶は曖昧に
なりがちで改めて聞かれるとはっきりとは答えられな
いものだが、10年ほど前からは減少を始めていたもの
と考えてよいのではないかと思われる。よく解らない
という方も多く(20%ほど)、いつの間にか減ってい
てしまったなど、今更ながら改めて気が付いたとい
うところなのだろう。

年代や地域で、減少の時期につき差がみられるかと
思われたが、特に差は見られなかった。

減ったと感じる理由(複数回答あり)は、里で群れ
飛ぶのを見なくなったを選ばれた方が多く、次いで庭
に来なくなったが多くあり、田んぼや公園、庭に飛ん
でくるアカトンボで季節の移り変わりを感じていた方
が多いことを示しているものと感じられる。また、山
での群飛を見なくなったを選ばれた方も多く(特に、
農林系職員・ナチュラリストで多く、司書では少ない)
あり、山と里を合わせて、群れ飛ぶのを見なくなった
と答えられた方は194中153にもものぼる。田んぼでの
産卵を見なくなったという方が比較的少なかったのは、
私としては少々意外だったが、アカトンボの群飛は気
づきやすく記憶にも残りやすいのでこの答が多くなる
のであろう。

減った理由については、分らないという答も多かつ
たが、田んぼの耕作方法の変化、田んぼの減少という
答も同数ほどあり、アカトンボの発生する田んぼの様
子の変化が影響していると考えられる方が多いようである。
すぐ近くにあった田んぼが宅地に変わったり、イネを
実らせていた田んぼが休耕したり転作をしたりとい
うのは目に見える分りやすい大きな変化だからであら
う。耕作方法の変化という答が多かったのは、実際に農
家である方も多いからであらう。ただ、その変化の具
体的内容について記されたものはなかったのは残念であ
った。

水田の区画整理、水路のコンクリート化、田んぼの
乾燥化、新たな殺虫剤や除草剤の使用、全般的に水辺
の減少などにより、トンボのヤゴ自体の減少もあるが、
その餌となる生き物の減少も当然あるだろうというご
意見もあった。また、田んぼの問題だけでは無いだろ
うという指摘も結構あった。

回答された内の6%の方は減少したとは思わないと
答え、その方々の多くは丘陵地や平地の住宅地・農耕
地の地域にお住まいの方で、アカトンボが今も庭に飛

んでくるとの答が多かった。減ったかどうか分からないと答えられ方は7%で、併せて13%の方は「減った」とは感じられなかったわけだが、併せてみると年齢的にも地域的にも特に大きな偏りは見られなかった。

このアンケートで少し問題があると感じたことは「ウスバキトンボ」を排除できたかどうかである。アカトンボ＝アキアカネということでアンケートをお願いし、間違われやすいウスバキトンボ等は除くと記したが、一部に、「お盆の頃、校庭や田んぼの上で群れ飛んでいるのを見ている。」「8月初めに、里でたくさん飛んでいた。」といった内容の記入があり、これは

「ウスバキトンボ」のことだと考えられ、また、「ウスバキトンボとはどのようなトンボか分からないが・・・」と記入された方があったからである。

ウスバキトンボを排除できないと、正確にはアカトンボ＝アキアカネの動向を捉えられないことになるが、このようなアンケートでは、さほどの厳密さは要求できないものであるし、「以前は、刈入れ後の田んぼで、2頭つながったアカトンボを多数見られた。秋の運動会の際校舎の壁にたくさん留まっていた。」などの記入も多くあり、大方の回答の様子では、アカトンボ＝アキアカネの様子を捉えられたのではないかと考えている。